

本文草稿

タイトル	3-4 インプラントの CT 診断における望ましいステントとはなにか。
作成者	中山英二
作成日	2006/9/10

I. はじめに

歯科インプラントの術前に CT を行う際の望ましいステントとはなにかを文献により考察した。そしてそのエビデンスレベルを明らかにした。

II. 方法

1. PubMed, EBMR での検索式

PubMed では 1991-2006 の文献について、“implant”and “dental” and “stent”で検索し、94 編の論文がヒットした。EBMR では同様の検索式で 1996-2006 の文献について検索し、6 編がヒットした。医中誌では 1996-2006 の文献について、“インプラント”and “ステント” and “歯学”で検索し、98 編の論文がヒットした。それらの文献についてタイトルと抄録より一次振り分けを行い、関連する内容が掲載されている可能性があるかと判断した論文の full text を吟味した。

2. 結果

現状では推奨されるステントとして十分なエビデンスに基づいたものは存在しない。報告者の臨床経験から臨床上有用であるとの個人的意見として、以下の意見がある。(すべての論文の evidence level-GLGL:VI、evidence level-AHCPR:IV、推奨度：B or C、検査の有用度の階層分類：E1)

A. 最終的な上部構造の予測のために調整したステントの指示部分や歯の部分

- 1) MMA レジンのポリマーと硫酸バリウムを混ぜたモノマーを使用する^{1,2,5)}。
- 2) MMA コートバリウムを 3%、5%、7%含有させたレジンを使用する³⁾。
- 3) 4) 接着性レジンにあらかじめ造影剤を混入した製品（スーパーボンドポリマー粉末ラジオペーク®）を使用する⁵⁾。
- 4) 通例のレジン製ステントの内面に X 線不透過性が低いシリコーン製剤（フィットチェッカー、GC）を使用する⁶⁾。

B. 人工歯根の植立位置と方向を示すための素材

- 1) ステンレス管を使用する¹⁾、
- 2) 鉄製スプルーはアーチファクトが生じるので使わずガッタパーチャを使用するか X 線不透過性の疑似歯にホールをあけて空気を使用する²⁾。
- 3) チューブスプルーやガッタパーチャを使用する⁵⁾、
- 4) 金属の代わりにシリコーン系バイト材（メモレグ、ヘレウス）を使用する⁶⁾。

III. まとめとお勧め

結論として現時点では、X 線 CT 時の推奨されるべきステントについての十分なエビデンスはないといえる。